

石油連盟 2010年 10大ニュース



1. 地球温暖化対策に向けた活動の展開

- ・今までの努力により既に世界最高水準のエネルギー効率を実現している日本において、適切な温暖化対策を進めるために、地球温暖化対策基本法案への反論、COP16での京都議定書の延長反対を表明
- ・製油所での更なる省エネを目標に掲げ、経団連の低炭素社会実行計画に参画

2. 政府税調、地球温暖化対策税として石油石炭税の増税を決定

地球温暖化対策税の安易な導入反対(1兆円超の既存温暖化予算の精査が先決)、ガソリン税・軽油引取税の抜本的改革および TAX ON TAX の解消等を要望するものの、政府税調で地球温暖化対策のための税として石油石炭税の課税強化を決定

3. エネルギー供給構造高度化法に基づく化石燃料の有効利用とバイオエタノール利用目標定まる

石油精製業者に対し、①原油等の有効な利用に関し、2013年度の重質油分解装置装備率を現在の10%程度から13%程度へ、②非化石エネルギー源の利用に関し、2017年度のGHG削減効果50%以上のバイオエタノール利用目標を原油換算50万KLとする基準が決定

4. エネルギー基本計画の策定

3年に一度改定される国のエネ政策の基本であるエネルギー基本計画において、石油は基幹エネルギーとして位置づけられ、サプライチェーンの維持など安定供給の確保の必要性や、バイオ燃料については持続可能性基準を踏まえ2020年に全国のガソリンの3%相当以上の導入を目指すことが示された

5. JXグループ発足

新日本石油(株)と新日鉱ホールディングス(株)の経営統合により、4月にJXホールディングス(株)、7月に石油精製販売事業会社のJX日鉱日石エネルギー(株)が発足

6. バイオ燃料導入に向けた着実な対応

2010年度に政府要請の原油換算21万KL(バイオETBE84万KL)を達成の見通し

7. 猛暑による国内需要の増加

猛暑によりガソリン、電力向C重油が堅調に推移し、2010年度上期の燃料油需要は前年同期比2%増、同期の在庫評価影響を除く石油部門の営業利益は赤字を脱する

8. BP、メキシコ湾沖の油田爆発事故により大規模原油流出

BPのメキシコ湾沖の石油掘削基地で爆発事故が発生し、1989年のエクソン・バルディース号事故を大幅に超える規模で海底油田より原油が流出

9. WTI原油、70~90ドル/バレルの高値で推移

10. エネルギー特別会計、行政刷新会議の事業仕分で存続評価